

# 長崎被災協・被爆二世の会・長崎

ニュースNO. 2

2012年10月26日発行

長崎市岡町8-20被災協気付 電話 095-844-0958  
長崎被災協・被爆二世の会・長崎

## 8月9日原爆落下中心碑で献花、長崎平和祈念式典へ

8月9日（日）午前10時より「長崎被災協・二世の会・長崎」の佐藤会長他7名、「二世の会・諫早」の森会長他2名とで爆心地公園の落下中心碑で黙禱、献花をおこない、平和への思いを新たにしました。そのあと平和公園での「被爆67周年・長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」へ10名が参列しました。また式典の中の「流れ献花」には、会員の赤水ますみさんが出席しました。

### ———式典参列・MEさんの報告———

8月9日、「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列しました。「長崎被災協・二世の会・長崎」の方々と並んで座り、前の席は高校生平和大使の皆さんでした。私は2年4ヶ月前に亡くなった父にも見てもらおうと、父の遺影を持って参列しました。父は14年前「原爆が投下された日は大村市から歩いて、翌10日の明け方、長崎市に入っていき、午前中の早い時間は爆心地にいた。」と私に語りました。

被爆60年だった2005年、私は「福岡被爆二世の会」に入り、被爆67年の今年、「長崎被災協・二世の会・長崎」にも入りました。そして初めて、平和祈念式典に参列しました。式典は11時2分の黙禱をはさんで約1時間、決して長いものではありません。被爆者の皆さん、高校生、小学生の追悼歌（コーラス）長崎市長、長崎県知事、総理大臣、国連事務総長（代理）のスピーチに続き、何より、被爆者・中島正徳氏の訴えが胸を打ちました。

長崎の大空にたくさんの白いハトが放たれ、今年の平和祈念式典が終わりました。そのとき、最後の1羽のハトがなかなか飛び立たず、だいぶ遅れて飛び立つという微笑ましい光景がありました。私はそのことが強く心に残り、翌朝、5・7・5・7・7の歌ができました。

・・・長崎の空に飛びたつ白いハト 私のように一羽遅れて・・・



## 日本被団協・全国二世交流会



佐藤会長と柿田事務局長

日本被団協は初めて二世交流会を10月3日（水）18時～20時、東京で開催し、二世27名、被爆者50名が集まりました。二世の会を作ったところ、準備しているところ、当分できそうもないところなど、実状はさまざま、話し合う時間も足りませんでした。ただ二世として「福島原発事故」「被爆体験の継承」「健康不安」「がん検診の実現」「実態調査を」などについて、同じ思いや課題が出されました。

今年9月、日本被団協の中に専門員会として二世委員会が設けられ、被団協役員6名（被爆者）と二世代表6名（東京、神奈川、広島、福岡、鹿児島、長崎。長崎は柿田が参加）で初会合がおこなわれ、12月の二世委員会で今後の活動について話し合われます。



## 日本被団協・全国代表者会議

10月3日（水）～4日（木）の2日間、全国から集まった被爆者代表と二世の約100名が「国の償い実現運動」「原爆症認定制度の抜本改正」「相談活動」「脱原発」「二世活動」などを話し合いました。

「国民の皆さんに訴えるー原爆被害への国の償いを実現させよう」「原発ゼロの決断を直ちに」の2つのアピールを採択して閉会しました。

## 日本被団協・中央行動

二世の会・長崎の佐藤会長、諫早の森会長、被災協・田中理事、被災協・柿田事務局次長は被団協全国代表者会議（10月3、4日）に参加した翌5日、厚生労働省や各政党へ、被爆者とともに各10名から30名のグループに分かれ、要請に出かけました。二世20名ほどが参加し、二世の現状を訴え、ガン検診追加など二世健診の充実を求めました。



田中事務局次長と民主党・高木義明選対委員長



日本共産党本部で笠井亮衆議、田村智子参議など



佐藤会長、社会民主党本部で福島みずほ党首と

## 二世健診を受診しましょう！！

申込期間は平成24年4月2日から翌年2月15日まで、受診は平成24年4月9日から翌年2月28日までです。会社で年1回健康診断を受けている人も合わせて半年に1回と位置づけ、受診しましょう。

平成23年度の二世健診の受診者は全国で17,600名、そのうち長崎県（長崎市を除く）で815名、長崎市で3,585名でした。

二世健診の内容充実を国に要望するためには受診者数、実績が大事です。

周りの二世にも呼びかけて受診者数を増やしましょう！！





池田早苗氏の被爆体験講話

7月28日(土)13時より被災協2階会議室で「第3回二世の会議」の冒頭に、被爆体験を聞きました。被爆体験を語る活動を長くおこなっておられる被災協理事の池田早苗氏で、佐藤会長のお父様です。

12歳のとき、家族7名を原爆によって次々と亡くした体験のすさまじさに、皆、圧倒されました。会場では、すすり泣きが聞こえました。池田氏は静かに平和への思い、そして二世への期待を述べられ、二世たちは感動しました。



7月28日、「平和の灯」のキャンドル作り



25個の手作りキャンドル完成！！



9月9日(日)二世の会・第4回会議にて



11月の学習・交流会や、原爆写真展など論議

### 被爆者運動継承の学習・交流会

とき 11月17日(土)13:30~17:30 18日(日)9:00~12:00

ところ 被災協 地下講堂 会費 500円

木戸季市・日本被団協事務局次長、山田拓民・長崎被災協事務局長、中山重光・熊本県被団協事務局長が被爆者運動について、わかりやすくお話しします。

10月21日(日)第5回二世の会会議の冒頭で、被災協の語り部活動をされている渡邊すが子さんから被爆体験を聞きました。渡邊さんは11歳で母親や妹など家族、親戚16名を原爆で亡くされ、その体験には皆、ことばを失いました。

渡邊さんのお話も池田さんのように1時間では足りず、じっくり時間をかけてお聞きしたいと思いました。

渡邊さんは「二世に期待している。」と言われ、たいへん励まされました。



### 第5回二世の会会議

10月21日(日)13時半より15時半まで被災協地下講堂で9名の参加でおこないました。

日本被団協全国代表者会議、二世交流会、中央行動、九州ブロック相談事業講習会などの報告のあと、被爆者運動継承学習・交流会の運営、「原爆と人間」写真パネル展などについて話し合いました。

#### 被爆者運動継承学習・交流会の運営

##### ★11月10日(土)

13時～ 被災協地下講堂

具体的な当日の流れをシュミレーションし、役割分担を確認します。資料印刷などの作業もあります。お手伝いが足りない状況です。ご協力いただける方はぜひご連絡ください。

##### ★11月17日(土)

10時集合 被災協地下講堂

### 会員・STさん逝去

9月10日に STさんが亡くなられていたことを、数日後、ご遺族からのお電話で知りました。突然のことだったそうです。

STさんは、3月25日の第1回二世のつどいに参加されました。重い心臓病があり、「いつどこで倒れるかわからないので、一人では外出できない。」と言われ、大学生の娘さんが付き添って参加され、「これまでの人生、病との闘いで、ずっとつらかった。」という発言が重く響きました。

7月28日の第3回会議にも出席されましたが、「体調があまり良くないので、キャンドル作りは失礼します。」と娘さんと帰られたのが最後でした。

9月21日に佐藤会長、柿田事務局長が弔問に伺いました。

ご冥福をお祈りするとともに、Tさんの遺志を引き継いでいきましょう。

「被爆者運動継承の学習・交流会」では、SKさんに作成をお願いし、ステキな案内チラシができあがりました。

また、第4回の会議報告を発送する際には HHさんに、今回のニュース発送には HTさんにお手伝いをお願いしています。